

# 蒲生タイムス

2010年

春号

みんなで支え合うこころを  
大切にしています♡



## 院長よりのメッセージ



小倉蒲生病院 院長  
井田 能成

今後の小倉蒲生病院は次の様な目標で取り組みたいと考えています。  
どうぞ皆様には精神科病院は決して敷居の高い所ではないので、お気軽  
に受診していただき、早期発見、早期治療をされ、心安らかに生活できま  
すようお手伝いをさせていただきたいと存じます。

- ①地域に根ざした交流を図る。  
住民の方の需要(ニーズ)に応じた医療サービスを提供する。
- ②そのために必要な外来と入院の機能を充実させておく。
- ③先を読み、準備するという見立てを行い、時代のニーズに合わせた医療  
サービスの充実を図る。

## 小倉蒲生病院 突撃インタビュー

地域の皆様が安心して来ていただける病院であるために当院の本年度のテーマは“連携”です。そこで地域との連携、院内での連携をより円滑により良いものにするために突撃インタビューを敢行しました。方法は「地域との連携や院内での連携を図るために貴方が一番大切だと思うことは何ですか?」とランダムに院内電話をし、電話をとった職員に聞いてみたその回答です。

# 皆んなで支



医師

薬剤師

臨床検査技師

作業療法士

栄養士

### 野瀬副院長

相手のこと、自分のことを理解することが大切で、そこから全ては始まる。コミュニケーションも大切であるが、それ以前に相手を理解しようという意識をもって相手に接することが必要だと思う。そうでなければ表面的な接触では関係は生まれない。

### 星野副院長兼看護部長

定期的な各職種の話し合いが必要。顔を合わせての話し合いをしないとお互いの意向は汲みとれない。相手の事情をこちらの事情として解り合うためにも定期に臨時にと話し合うことで連携が図れると思う。

### 藤枝医師

患者さんの社会復帰が大切で、それを成すために皆で考え、共働り、地域とも院内でも連携が生まれると思う。

### 菊池薬剤課次長

一番大切なのはコミュニケーションで、それ以外にはないと思う。

### 松本臨床検査技師

病気の知識を提供する機会を作る。情報の供給が大切。

### 山口作業療法士主任

お互いの仕事の内容を知る、自分のことを知ってもらおうと思うのであれば、まず相手のことを知る必要があると思う。自己主張をするばかりでは駄目で、やはり相手のことを考えることが必要。

### 上田栄養士

まず話し合うこと。細めに連絡をとり合うことが大切。



精神保健福祉士

総務

事務

### 八尋精神保健福祉士

一人の患者さんを診るのは、医師だけワーカーだけでも駄目で、色々な職種が関わりをもてるよう連絡調整が必要と思う。

### 芳賀事務員

報告・連絡・相談が大事だと思う。

### 山下事務局長

コミュニケーションが大切。町内会・老人会・施設・学校・官公庁などとも交流をする。施設を賃与しても良いと思っているが、そのためには患者さんがいかに来やすいかが重要だろう。

### 工藤総務課長

地域との関わりで大切なものは、こちらからも出ていくことだと思う。じっと待っているは何もできない。

### 坪根事務員

病院の基本方針に沿って、病院職員として持っている知識を患者さんや家族の方に伝える。

### 松本事務員

全体的なことだと思う。境界はない。役割や部署をこえるものだと思う。看護部長の仕事がスムーズにいっようにしていきたい。

### 友宗事務員

思いやりだと思う。周囲の掃除などして、気持ちよく来てもらえるようにする。

# えています。



## 病院理念

入院医療から地域ケアまで  
地域に開かれた病院づくりと  
患者様とご家族の支援をめざす

## 基本方針

患者様本位の上質な  
医療サービスの提供

「信頼・安心・満足」

地域社会のニーズにこたえ  
在宅ケアの支援を行う

### 栗原看護師長

接触を図ることが必要。  
出向く、行ってみるなどで待っていても駄目で、行動を起こさないと「連携」はとれないと思う。

### 岡島看護主任

困りごとの相談にのる。話を聞くことが必要情報の共有化をする。  
コミュニケーションの図りやすさや伝達はなかなかむずかしい、だから人間関係を良くする。

### 看護師



### 野依看護主任

仲良くなれたらいい。  
職種や部署にとらわれずそうなるといい。

### 出口看護主任

交流し、近くなること。何が喜んでもらえるか解らない。開かれたかんにする。外に出ていく。病院を知ってもらおう地域にむけて発信する。講義、講演、困りごと相談など。

### 山崎看護副主任

交流を図る場所を作る必要がある。  
夏祭りなど参加させてもらったり、参加してもらったりなど。

### 熊本看護副主任

連絡を蜜にとってコミュニケーションをとって、相手を思いを受けとめる。  
言葉と気持のキャッチボールが重要と思う。

### 本河看護師

地域貢献が必要。  
地域の祭りに参加したり、ゴミ拾いをしたりなど。

### 今泉看護師

協力が大切。  
こちらから地域へ参加、交流していく。コミュニケーションをとり入りこんでゆく。

### 井手看護師

精神科は孤立している。まわりの人からは恐いイメージがあると思う。そのようなイメージがあるのも、精神科はこんな所だと知ってもらって交流が少ないからだと思う。

### 岩本ケアマネージャー

介護保険で困っている人を助けてあげたい。  
どんな小さな事でも、よそで聞きにくい事でも相談にのる。

### 竹崎ヘルパー

普段のコミュニケーションをとり、解っているだろうとの思い込みはせず連絡をとり合う。  
挨拶が大切。

### 小川ヘルパー

挨拶や連絡や相談をして、お互いのコミュニケーションをとることで繋がってゆくと思う。

### ケアマネージャー ヘルパー



### 白木室長

お互いが胸の扉を開いて話し合い、理解し合う事が大切だと思う。  
セクショナリズムに陥り、自分の部署のことだけを考えていたのでは、どことの「連携」も成り立たないと思うので、限らない愛情と好奇心で解り合える関係づくりをしたい。

# 小倉蒲生病院は認知症の専門病院です。 安心して、お気軽にご相談ください。



## 事業案内

- ・外来
- ・重度認知症患者デイケア 1単位
- ・認知症疾患医療センター
- ・精神科デイケア
- ・精神障害者グループホーム「ひまわり荘」 2単位
- ・訪問看護ステーション「しあわせ」
- ・介護保険支援センター「しあわせ」
- ・ヘルパーステーション「しあわせ」
- ・認知症対応型共同生活介護グループホーム「しあわせ」

## 病床数

・精神科急性期治療病棟(東1)	……………	26床
・男子精神慢性回復期病棟(東2)	……………	27床
・老年期精神病棟(西1)	……………	51床
・女子精神急性期慢性期病棟(西2)	……………	50床
・ストレスケアセンター(新3)	……………	20床
・認知症治療病棟(新1)	……………	40床
・認知症治療病棟(新2)	……………	40床

## 認知症疾患医療センターご案内

### 【目的】

認知症疾患医療センターとは、北九州市内の保健医療、介護機関等と連携を図り、認知症疾患に関する鑑別診断、急性期治療、専門医医療相談等を行い、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることで。

### 【サービス内容】

#### 1. 専門医療相談

認知症に関する専門的な医療相談や医療機関への紹介を行います。

#### 2. 鑑別診断、治療方針の選定の調整

認知症の症状であるのか、初期の段階での診断・治療を行います。

#### 3. 他の機関との連携

介護保険等の関係機関との連絡調整を行うと共に、介護サービスの情報を提供

### 【費用について】

1. 相談については無料
2. 診察については医療保険による自己負担

## ご家族が「認知症かな？」 と思ったら、簡単チェック!!

高齢者の方がこんな時に…

- 幻覚・妄想がある
- 物忘れがひどい時
- 出歩いて道に迷う
- 火の始末ができない
- 訳の判らないことをいう
- 夜、眠らずにウロウロする
- 人が変わったようになった
- 尿や便失禁がたびたびある…等



上記のような症状がみられる場合、緊急に治療を要する状態もあれば、家庭での介護でも十分な状態もあります。社会福祉士・精神保健福祉士の資格を持った相談員が対応させていただきます。

## パーキンソン外来、 神経内科標榜のご案内

パーキンソン外来を開設致しております。その他の神経疾患や軽度の認知症の方の診察もさせていただきます。

担当医師 三好 甫

専門領域:神経内科疾患全般(境界領域を含めて)、特にパーキンソン病、軽度認知症の診断治療を行います。また特殊治療として顔面や眼瞼痙攣に対するボトックス治療も行っております。ゆったりとした患者様中心の診察を心がけていますので、どうぞお気軽に受診下さい。



## 睡眠時無呼吸症(睡眠障害)外来 のご案内

解析付終夜睡眠脳波も導入して不眠や睡眠時無呼吸症の治療をより充実し、睡眠障害に精通した副院長が担当させていただきます。

担当医師 野瀬 巖

睡眠時無呼吸症のみならずナルコレプシーや、睡眠時の随伴症にも積極的に取り組んで参りました。長年の研究を生かした治療を行いたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

医療法人 小倉蒲生病院  
認知症疾患医療センター

相談窓口  
専用ダイヤル

☎093-963-6541

小倉蒲生病院では、全職員対象に個人情報保護法に基づく個人情報の取扱い方について研修会を実施しております。個人情報の取扱いには十分注意しておりますので、ご安心ください。

☐ 発行



医療法人 小倉蒲生病院

〒802-0978 小倉南区蒲生5丁目5番1号  
TEL 093(961)3238(代) FAX 093(961)3239  
ホームページ <http://www.kokura-gamou.jp/>